

佐賀県立博物館

6月28日に、佐賀市内にある佐賀県立博物館に行きました。佐賀藩主鍋島家の御刀鍛冶(御用刀工)の忠吉(ただよし)とその一門が作成した「肥前刀」に関する展示が行われていました。忠吉とその一門は、江戸時代を通じて100人を超える刀工を輩出し、隆盛を極めました。

「肥前刀」と呼ばれるその刀は、江戸時代の専門書では「最上大業物(さいじょうおおわざもの)」と最高級の評価を受けるものであり、将軍家への贈答用として用いられました。

<展示概要>

最上大業物 忠吉と肥前刀

会期	2019年4月12日(金曜日)~7月15日(月曜日・祝日) 【休館日】 毎週月曜日 ※月曜日が祝日の場合は翌火曜日(ただし、4月30日は開館)
開館時間	9時30分~18時
会場	博物館3号展示室
観覧料	無料
主催	佐賀県立博物館
展示内容	刀剣、鐔、拵など 74件(予定) ※会期中、展示替えがあります

最上大業物 忠吉と肥前刀



佐賀に博物館があることは知っていましたが、行ったことはありませんでした。今回の見学で、初めて佐賀の刀を見ることが出来ました。博物館には、刀だけではなく佐賀のたくさんの展示品があり、とても興味深かったです。



月足 白井 作